



22世紀に緑の遺産を贈る
県民運動
にいがた「緑」の百年物語

平成20年度

事業計画書

社団法人にいがた緑の百年物語緑化推進委員会

平成20年度事業計画

活動方針

近年、地球規模での環境問題が大きく取り上げられるなかで、京都議定書の第 期約束期間の開始や環境をテーマとする洞爺湖サミットの開催、「美しい森林づくり推進国民運動」の本格化などから、森林や緑に対する関心の高まりが予想され、県内各地での緑化活動の活発化や、企業のCSR（社会責任）への高まりからの森林づくり活動への理解が県内に広がりつつある。

このような中で「にいがた緑の百年物語県民運動」は7年を経過し県内に定着してきたが、この運動を支える緑の募金は、企業や職場の募金は伸びているものの募金の柱である家庭募金は市町村合併等による募金環境の変化から依然として低迷、会費収入についても同様に厳しい状況にある。

しかしながら、にいがた緑の百年物語県民運動は、「美しい森林づくり推進国民運動」の先駆的運動であり、これまで以上に財源確保に努力する一方、予算の効率的執行に努め、広報活動による普及啓発に努め、運動を全国へと発信する。

また、中越沖地震等の被災地に対する緑の復興支援をはじめとする緑化活動支援による県民参加の森づくりの推進と心豊かな子供たちの育成、ボランティア団体の活動支援などと併せて、県との協働による森づくりコミッション活動（注）を展開し、21世紀の百年をかけた持続した運動として着実に推進する。

（注）森づくりコミッションとは

「国民参加の森林づくり」活動への参加をいっそう広めるために、森林づくりに関心のある企業、学校、NPO 等に対し、活動場所や森林ボランティア団体、関係機関等の橋渡しや企画・提案を行う中間支援組織。

〔平成20年度の重点事項〕

- にいがた緑の百年物語県民運動の普及啓発及び緑化活動の推進
- 二度の震災により被災した地域の緑の復興支援
- 子供たちの森林環境教育の推進及びボランティア団体の育成強化

主要事業の概要

1 財源の確保について

財源確保は依然として厳しい状況にあるが、運動を推進するために、県及び市町村の協力を得ながら、以下の取り組みを強化する。

（1）会員の拡大

会費目標は17,430千円とする。（平成19年度見込15,300千円）

主に企業を対象とした新規会員加入を促進する。

植樹イベントや緑化団体等と連携し、「緑の百年物語」県民運動の啓発と併せ会員募集活動を展開する。

(2) 緑の募金の確保

目標額は75,000千円とする。(平成19年度見込71,700千円)

県、市町村、緑の募金支援団体等の協力を得て、家庭募金、街頭募金、官公庁・企業等職場募金及び震災復興支援の用途限定募金など多様な募金活動を展開する。

旧新潟市や旧長岡市など家庭募金未実施区域に対する募金実施を要請する。

企業の社会貢献活動の高まりに対応し、募金に対する協力を要請する。また、企業と提携しての多様な募金の拡大(自販機販売提携・募金付定期預金など)を図る。

2 組織基盤の強化

地域の緑化推進を図るため、行政と連携した民間主体の地域連絡会議の設置を進める。

また、新たな運動拠点としての支部設置については準備が整った地域から順次設置する。

地域と本部をつなぐ役割として配置した地域推進員及び地域協力員の活動強化に努める。

これまで以上に県、市町村との連携を強め、緑の募金の推進及び緑化助成事業等は県、市町村の協力を得ながら実施する。

3 「緑の百年物語」普及啓発

(1) 広報活動の強化

新聞、会報、ホームページ等を効率よく活用し、広く県民に情報提供すると共に、5月4日(みどりの日)、10月11日(第2土曜日)の春季、秋季「緑の百年物語の日」を中心に、運動の集中化と定着を促進し、県民運動をアピールする。

年2回会報、春季、秋季の「緑の百年物語」推進月間に併せたペント情報誌を発行する。

ホームページを充実し、本部及び地域の情報発信の強化及び緑化団体相互の情報交換支援に努める。

新潟日報の「緑の守り人」協賛については、平成20年度も継続実施する。

(2) 「緑の百年物語フェスティバル」等の開催

第8回百年物語フェスティバル 平成20年10月 新潟市で予定

にいがた海の森の集い

〃

〃

4 ボランティア団体緑化活動等に対する支援

厳しい財源状況の中、県及び各種団体等の受託事業の活用や、(社)国土緑化推進機構助成事業等の申請・実施指導等により、ボランティア団体等の緑化活動を支援する。

(1) 一般会計(緑百年)事業

ア 地域緑化活動支援事業(県受託)

イ 地域ネットワークづくり事業(県受託)

ウ ゴルファー緑化促進事業(ゴルファーの緑化促進協力会交付金)

エ ボランティア保険料助成

補助採択されない小規模ボランティア活動のうち、20名以上が参加する保険料の助成。

(2) 緑の募金特別会計事業

ア 緑の募金森づくり事業

学校林の整備、地域の団体等による森づくりに助成

イ 緑の募金記念植樹事業

市町村の行う記念植樹等に対する苗木助成

ウ 震災復興緑の支援事業（新規）

震災復興支援「緑の募金」を原資とした緑の復興支援

エ 緑の少年団育成事業

緑の少年団の活動・結成支援、交流集会開催支援

（３）にいがた森づくり特別会計事業

寄付金を財源とし、啓発効果の高い森づくりや緑化活動等を支援し、緑の百年物語普及を推進する。

5 緑と水の森林基金事業

地球温暖化防止の「国民参加の森林づくり」の具体的展開を目的に実施される事業で、森林・緑の普及啓発、森林環境教育を通じた次世代の育成、ボランティアの育成と緑の拠点づくりを進める。

普及啓発事業として、緑の百年物語イベントの開催、森づくり活動情報誌発行、普及啓発情報誌「林業新潟」記事登載、新潟日報の「緑の守り人」の協賛及び子供たちの森林環境教育を目的とした緑の学校（仮称）とグリーンボランティア講座などを開催する。

また、活動基盤事業として、緑の百年物語記念の森を整備し利活用する。